

こんにちは。

いまから40年くらい前、わたくしがまだ教員だった頃の話です。

あるとき校長先生から、地区の研究会に参加するようお話がありました。

各学校から1名が選ばれて、年に何回か集まって行う研究会です。

ところがなんと、わたくし、そのお話をお断りしました。

その理由は、学校の仕事が大変忙しくて手が回らない。

もし参加すると、学校の仕事が疎かになってしまう。

わたくしの他にも適任者がいるのではないか。

校長先生の期待を裏切ってしまう、なんとも出来の悪い不届きな教員でした。

それから十数年後、わたくしが校長を拝命したとき、

最初の職員会議でこんな話をしました。

「みなさん、全力でお仕事をさせていただいてありがとうございます。

でもこれからは、80%の力でお願いします」

せっかく全力で仕事をしている教員に

水を差すようなことを言ってしまったかもしれません。

それに、もしみんなが本当に80%の力で仕事をしたらどうしよう？

でも1年経って分かりました。

100%の人は相変わらず100%、もしくは少しゆとりをもって90%くらい。

驚いたことに60%の人が70%になったように感じました。

結果的に、教員間の仕事のアンバランスが少しは是正されたと思っています。

それからわたくしは、一人一人の教員の授業持ち時間数について

だれだれ先生は何時間、だれだれ先生は何時間というふうに案を作って

年度始めの職員会議で配りました。

教科の都合等で若干の修正はされましたが、だいたいこの通りに決まりました。

各学校の事情はまちまちですからご参考にならないと思いますが、

なんらかの形で職員間の仕事のアンバランスを是正したいという姿勢を職員に見せることは

大事なことだと思っています。

お祝いの言葉になりませんでした。申し訳ありません。

本日は総会の開催、まことにおめでとうございます。